

2008 年度春学期 授業評価を振り返る

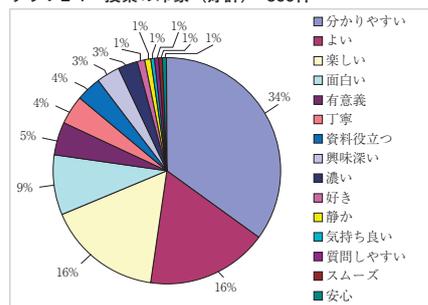
学生による授業評価の 自由記述について

学生による授業評価で自由記述の多かった項目は、①授業の印象、②板書、③教員の声、④教員に対する印象、⑤周りの学生への印象、⑥授業時間、であり、それらの分析結果の概要を報告させていただきます。

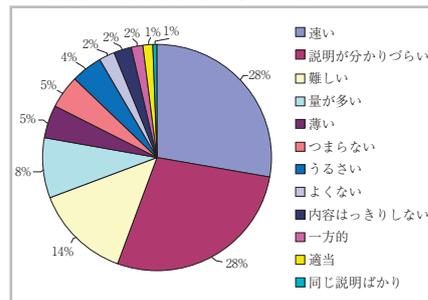
■授業の印象

グラフ2-1およびグラフ2-2には授業の印象を全学データで整理し示した。授業に対する学生の印象は、好評が69%、不評が31%と肯定的、好意的な評価が多く、そのうち好評は、「興味ある内容」よりも「分かりやすさ」が優位を示している結果となった。この結果は、本学で行われている授業が「興味深い」「有意義」と思われるよりも「分かりやすい」と感じている学生が多いという結果ではあるが、「分かりやすい」授業が多く多くの学生にとって期待する授業であるとも判断されよう。このことは、グラフ2-2の授業の印象が不評な理由として、内容より速度や説明の仕方などについての意見が過半数を占めることから推察される。

グラフ2-1 授業の印象 (好評) 369件



グラフ2-2 授業の印象 (不評) 168件



大学教育研究
センター長

学長補佐
電気システム工学科
教授

坪井和男



大学教育研究
センター
副センター長

都市建設工学科
教授

杉井俊夫

本学の教育重点目標、『魅力ある授業づくり』の一環として導入した2008年度春学期のWebを利用した「授業改善アンケート」と「授業評価」を無事終えることができた。多くの教員、学生の皆さんのご理解、ご協力を得ることができたことに感謝申し上げるとともに、「授業評価」の結果について概要を報告させていただきます。

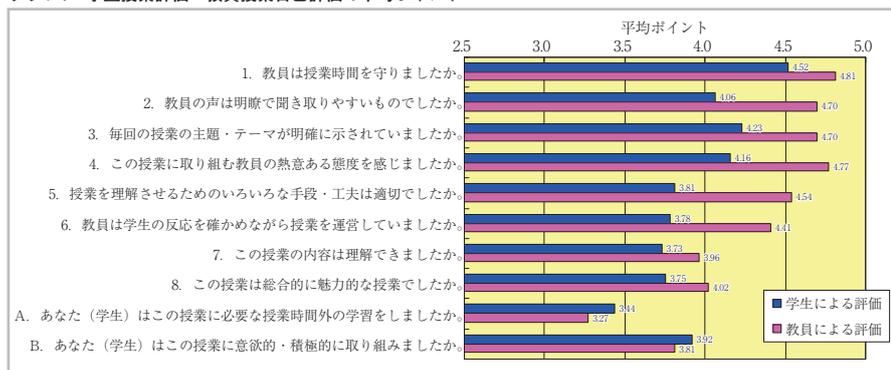
学生授業評価・教員授業自己評価の平均ポイントと特徴

マークシートからWebを利用する方法に変更後の初めての学期であったが、学生による授業評価の平均回答率は14.2%、寄せられた自由記述は1,685件、また新たに実施した教員による授業自己評価の平均回答率は49.6%であった。

まず、学生からみた授業評価と

教員からみた授業自己評価の相違について分析してみる。グラフ1は、学生の授業評価と教員の授業自己評価の平均ポイントの比較を示している。特に設問2から設問6(声、主題、熱意、工夫、反応)については、学生と教員の認識のズレが大きいことが表れている。また、設問A、Bでは学生による評価の方が若干高く、結局、自らを評価した結果の平均ポイントが高くなる傾向が得られた。お互いの生の声を聞くことが重要であることを、今回の授業評価の結果は示唆しており、『魅力ある授業づくり』の重要なポイントと言えよう。なお、授業評価の詳細な結果については大学ホームページの『魅力ある授業づくりのために』からログインして、ご覧いただければ幸いです。

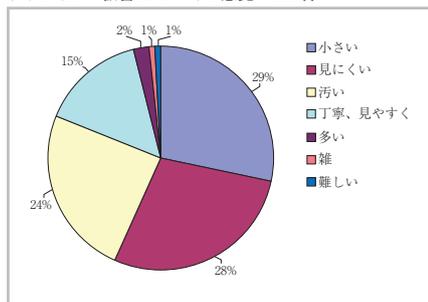
グラフ1 学生授業評価・教員授業自己評価の平均ポイント



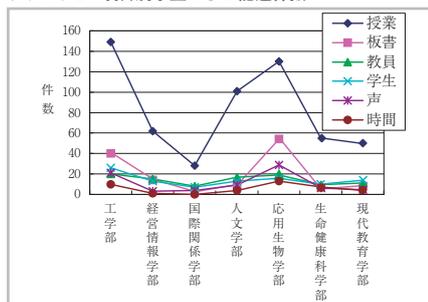
■板書について

板書についての自由記述は**グラフ3-1**に示すように127件があり、「小さい」「見にくい」に続いて「汚い」という意見が多く、板書の量が「多い」などの意見は少ないことが特徴的である。改善として、まず「大きく」書くことの重要性をこの結果は示している。また、**グラフ3-2**は、学部別学生による自由記述の項目別頻度を示すが、板書に対する意見が多いのは応用生物学部と工学部であり、ノートを作成する理系学部の特徴が表れているように思われる。この結果から、丁寧に板書することを少なくとも理系学部では求められているのではないだろうか。

グラフ3-1 板書についての意見 127件



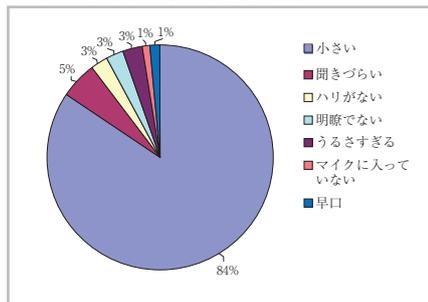
グラフ3-2 項目別学生からの記述件数



■教員の声

グラフ4に示す教員の声に関する

グラフ4 教員の声に関する意見 77件

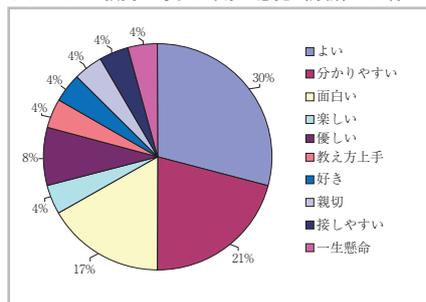


77件の意見の中では、圧倒的に「小さい」とのコメントが多い。このことは、マイクを使う場合も音量調整に配慮する必要のあることを示唆していよう。

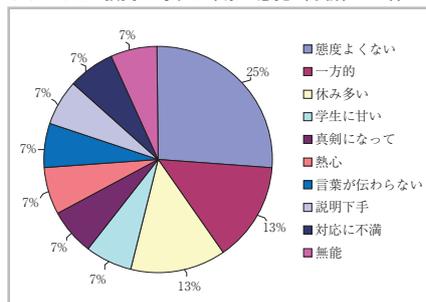
■教員に対する印象

教員に対する意見として好評なのは79%で、**グラフ5-1**に示すように「分かりやすい」「面白い」が圧倒的に多い。不評は21%で、**グラフ5-2**から「態度がよくない」「一方的」「休みが多い」という教員個人の身勝手さについての指摘が目立つ。教員は無意識であっても、学生には気になる点であり、教員との認識のズレを示している。われわれ教員は、今回の結果を真摯に受けとめ、改善していかなければならない。

グラフ5-1 教員に対する印象・意見（好評） 52件



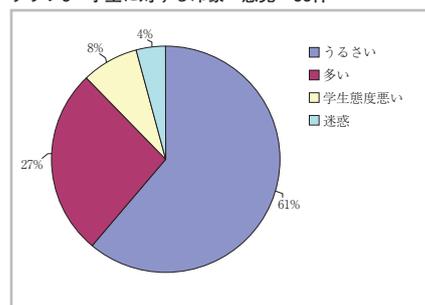
グラフ5-2 教員に対する印象・意見（不評） 14件



■周りの学生への印象

グラフ6に示した授業中の他の学生に対する印象・意見では、「うるさい」と答えた学生が多い結果となった。さらには「学生の態度が悪い」という意見もあり、授業に積極的な学生の姿勢が感じられ、教員の対応を望む声とも受け取れる。

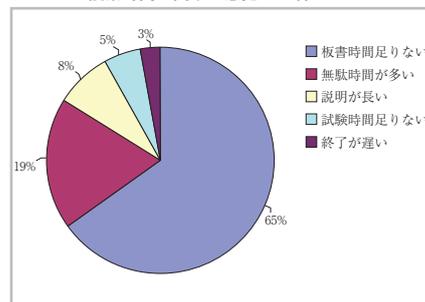
グラフ6 学生に対する印象・意見 55件



■授業時間に関する記述

板書を取る時間が少ないと感じる学生が多いことがわかる(**グラフ7**)。パワーポイントの使用によるものは分析できないが、そうした新しい教材の逆効果も考え、対応することも必要であろう。一方、無駄な時間が多い、説明が長いと感じる学生も多く、学生の反応を見ながら授業をしてほしいとの要望とも言えよう。

グラフ7 授業時間に関する意見 37件



今回の分析を終えて

初めてのWebを利用した「授業評価」の結果で、その回答数から十分意見を得ていないとの疑念の聲があるかもしれない。しかし、パソコンでの入力によって自由記述の数は前年度より著しく増加した。同時に建設的な意見も多く、まさに魅力ある授業を求めている学生の意見が集められたと判断できよう。今回の結果を真摯に受けとめ、教員と学生が正面から向き合うことが教育の原点であると考え、本報告が『魅力ある授業づくり』の第一歩となることを願っている。